

# 脱炭素社会の推進に向けた コープさっぽろの取り組み

生活協同組合コープさっぽろ  
環境・フードバンク部 鈴木昭徳

1. コープさっぽろ概要
2. SDGs概要
3. SDGsと低炭素社会
4. 省エネルギー
5. RE100
6. プラスチック問題
7. まとめ



# 1. コープさっぽろ概要

## 1-1 事業規模

### 現状

コープさっぽろ1965年創立

**組合員数170万人、276万世帯(2017年3月)**

都道府県単位で全国1位の生協

店舗108、宅配センター32(デポ8)、生産工場7、移動販売車87 など  
正規職員2157人、契約職員1932人、パート等 10804人



2017年  
統合10周年

### 事業高(2017年度)

組合員出資金 703億円

**事業高 2820億円**

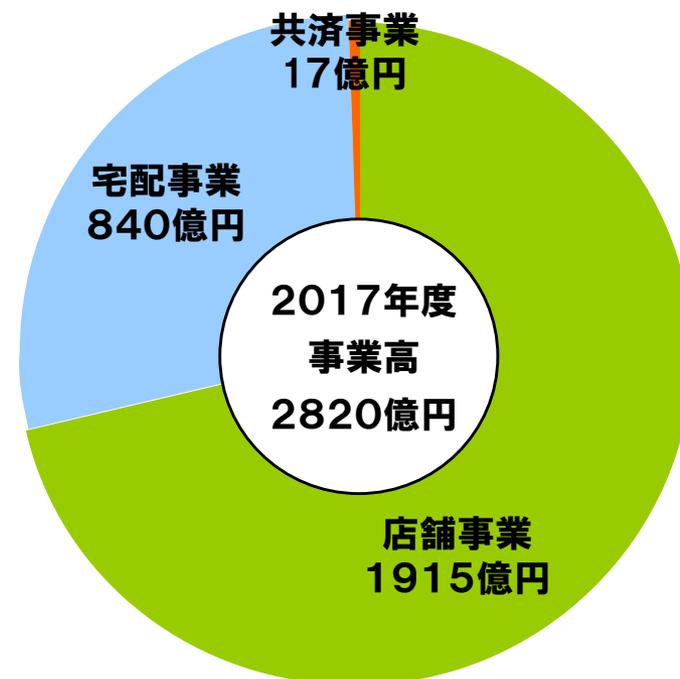
(内訳)

店舗事業 1915億円

宅配事業 840億円

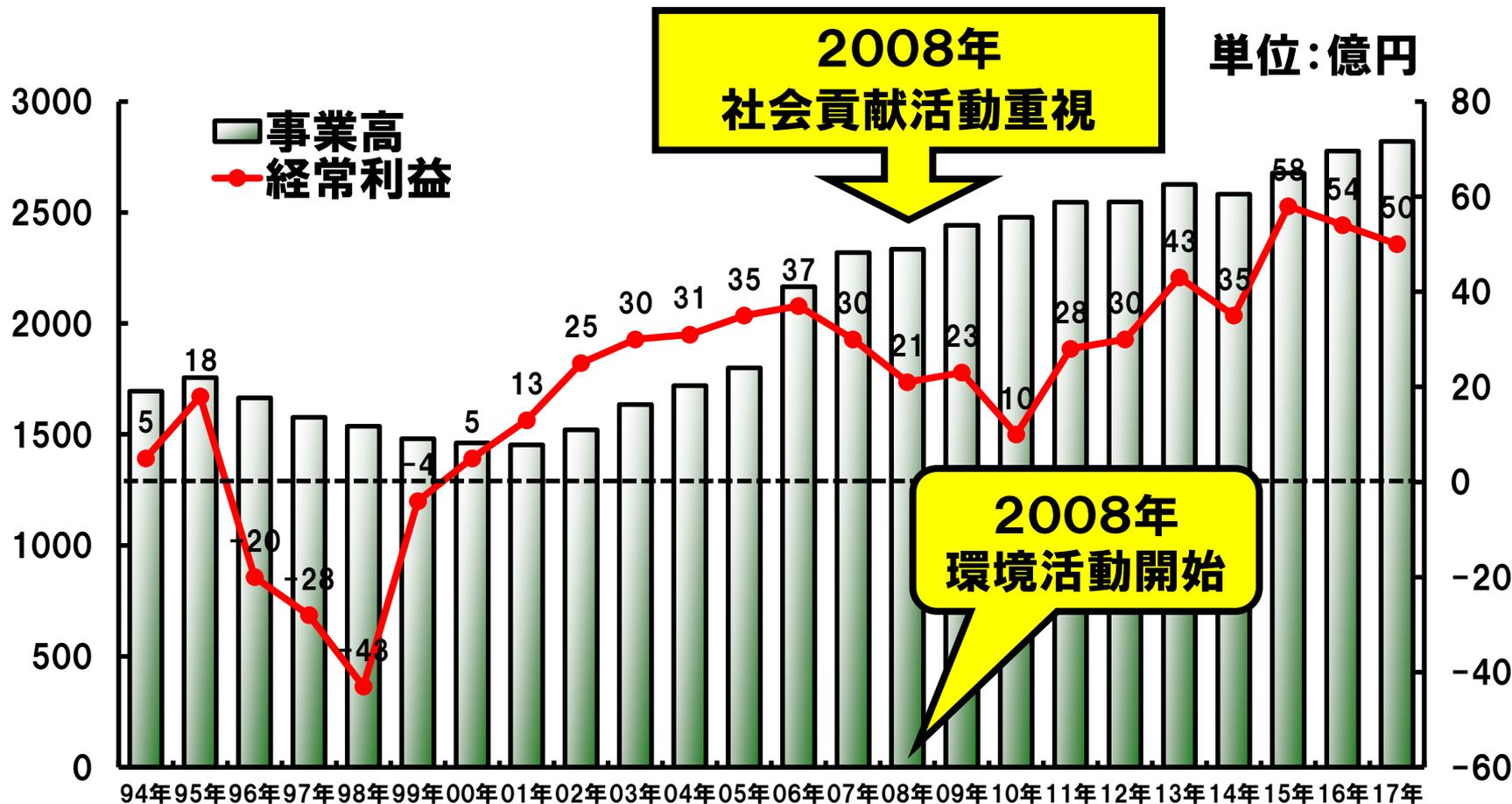
共済事業 17億円

**経常利益 50億円**



# 1. コープさっぽろ概要

## 1-2 事業推移



社会貢献活動を通じた北海道へ貢献を決意し、  
2008年から環境活動を開始しました

## 2. SDGs概要

### 2-1 持続可能な社会



**子供や孫の世代が安全・安心に生活するためには  
地球環境に配慮した開発が必要です**

## 2. SDGs概要

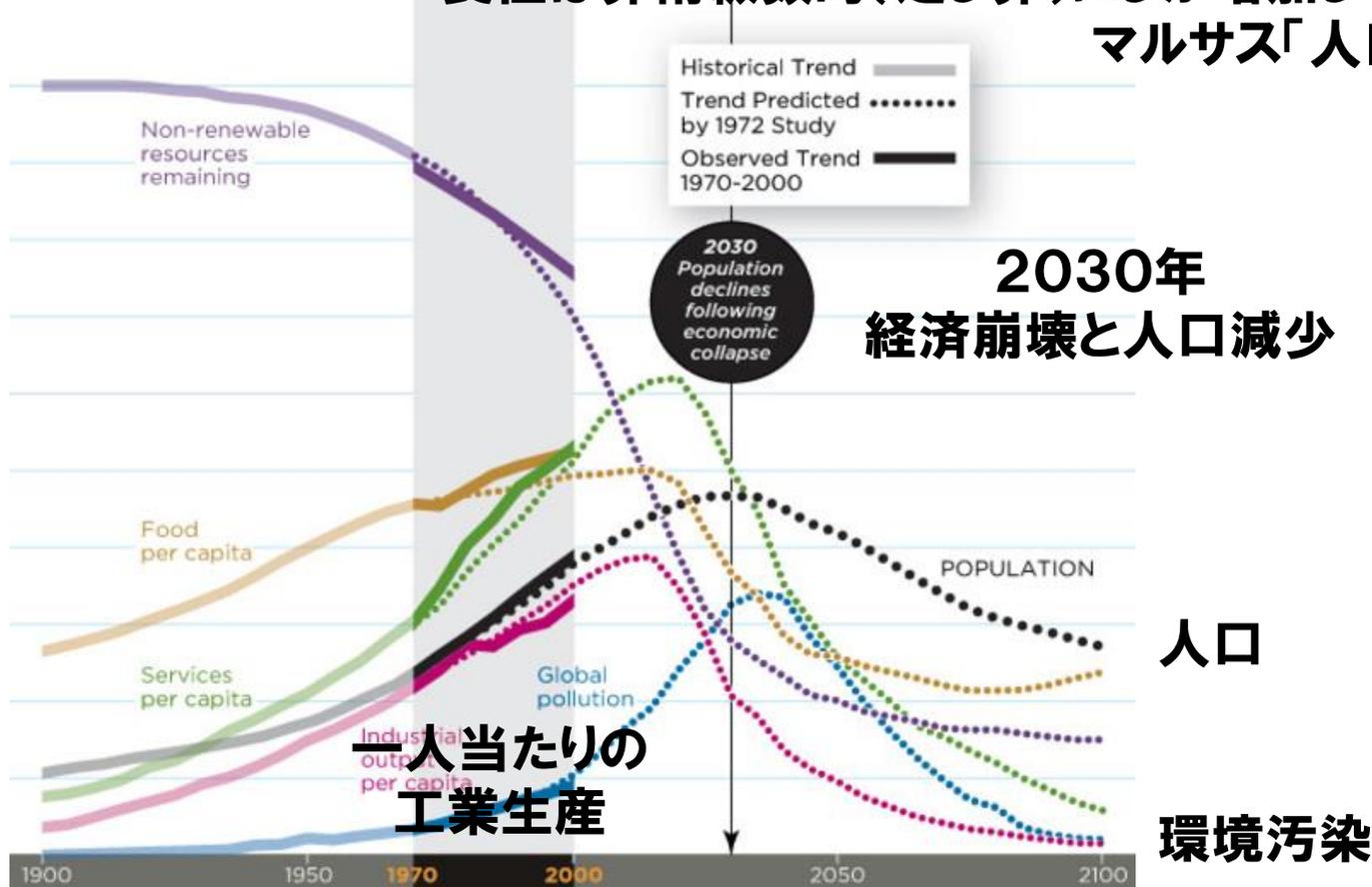
### 2-2 成長の限界

人口は幾何級数的(掛け算)に増加するが、食糧は算術級数的(足し算)にしか増加しない  
マルサス「人口論」

再生不可能な  
資源量

一人当たりの  
食糧

一人当たりの  
サービス



利用可能な資源の激減や環境汚染により、2030年に経済的破局に直面するという警告(メドウズ 1972年)

## 2. SDGs概要

### 2-3 持続可能な開発と国連

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



国連は2030年までの17の目標を掲げました  
(2015年9月)

## 2. SDGs概要

### 2-4 策定の背景

持続可能な開発目標とは？

正式名称：

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ  
SSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS(SDGs)

前文(理念)：誰一人取り残さない Leave no one behind

採択：国連総会において全会一致で採択(2015年9月)

構成：17の目標と169のターゲット

前身：ミレニアム開発目標(MDGs 2000年、国連開発計画の主導)

MDGsとの相違点：参加型で透明性を担保



国連が開催した会議や条約の集大成であり、  
参加型で作られた国際目標です

## 2. SDGs概要

### 2-5 17の分野別目標



貧困をなくそう



飢餓をゼロに



すべての人に健康と福祉を



質の高い教育をみんなに



ジェンダー平等を実現しよう



安全な水とトイレを世界中に



エネルギーをみんなにそしてクリーンに



働きがいも経済成長も

## 2. SDGs概要

### 2-5 17の分野別目標

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



産業と技術  
革新の基盤を  
つくろう

10 人や国の不平等  
をなくそう



人と国の  
不平等を  
なくそう

11 住み続けられる  
まちづくりを



住み続けられる  
まちづくりを

12 つくる責任  
つかう責任



つくる責任  
つかう責任

13 気候変動に  
具体的な対策を



気候変動に  
具体的な対策を

14 海の豊かさを  
守ろう



海の豊かさを  
守ろう

15 陸の豊かさも  
守ろう



陸の豊かさも  
守ろう

16 平和と公正を  
すべての人に



平和と公正を  
すべての人に

## 2. SDGs概要

### 2-5 17の分野別目標



パートナーシップで  
目標を達成しよう



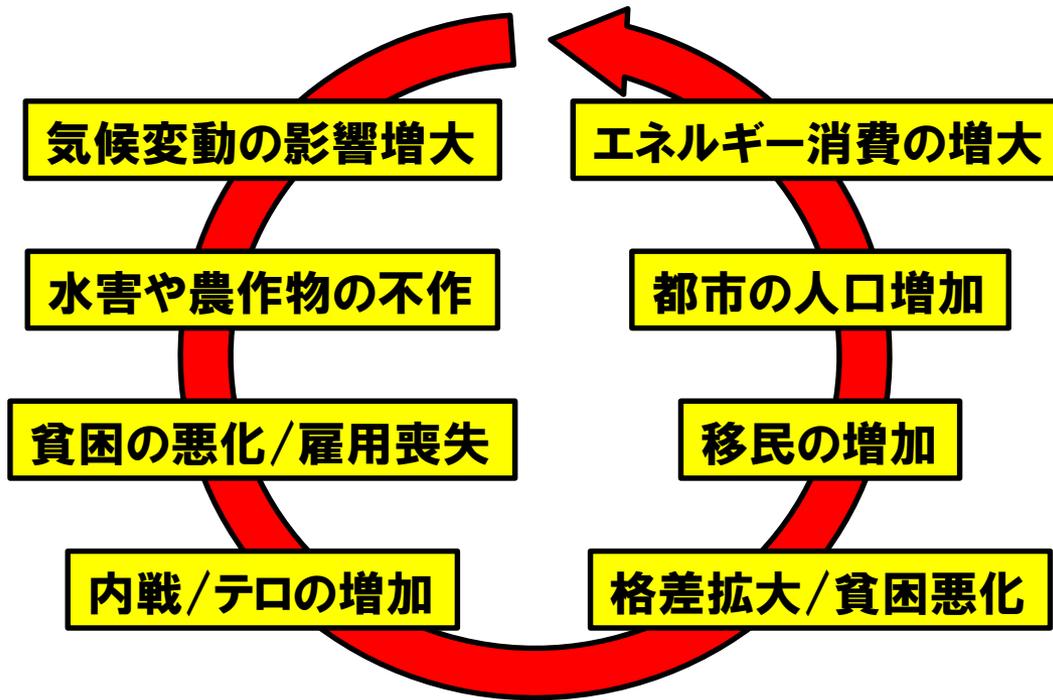
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## 2. SDGs概要

### 2-6 課題の連鎖

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

**社会問題、経済問題、環境問題を  
同時に解決するのがSDGsの考え方です**

## 2. SDGs概要

### 2-7 特徴

#### 2030年に向けた世界共通の目標

先進国を含む全ての国が参加し、適用される

#### 5つの「P」が重要な要素

人間(People)、地球(Planet)、繁栄(Prosperity)、平和(Peace)、  
パートナーシップ(Partnership)

#### バックカastingによる目標設定

あるべき姿を起点に現在を振り返り、今何をすべきかを考える

#### 計画検討・政策ツールとして活用

政策の連携、統合性を確保するためのチェックリスト  
幅広いステークホルダーの参加を促す仕組み

**SDGsは国連が開催した会議や条約の集大成であり、  
参加型で作られた国際目標です**

## 3. SDGsと低炭素社会

### 3-1 SDGsと低炭素社会

#### 低炭素社会の推進と関連の強いSDGsの目標



目標13 気候変動に具体的な対策を・・・地球温暖化対策

目標07 エネルギーをみんなにそしてクリーンに・・・再生可能エネルギーの利用

目標15 陸の豊かさを守ろう・・・温室効果ガスの吸収

目標12 つくる責任つかう責任・・・3Rによる環境負荷低減

**持続可能な社会づくりには  
低炭素社会の推進が不可欠です**

## 3. SDGsと低炭素社会

### 3-2 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る(気候変動)

13 気候変動に  
具体的な対策を



世界:

- ・地球温暖化は異常気象、生物多様性の喪失、食料不足など広範囲に影響
- ・再生可能エネルギーの使用(化石燃料の使用量削減)は緩和対策
- ・防災・衛生・医療・農業政策の強化は適応対策
- ・COP21において世界の平均気温の上昇を抑えるパリ協定が採択(2015年)

日本:

- ・2030年までに2013年比で、温室効果ガス排出量を26%削減

コープさっぽろ:

全事業、環境活動全般、エネコープ

他のSDGsへの相乗効果を狙いながら、  
対策を考える必要があります

## 3. SDGsと低炭素社会

### 3-3 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

世界:

- ・11億人が電力サービスを受けることができない(2012年)
- ・30億人が汚染・健康被害の恐れのある燃料や技術を使用
- ・気候変動対策のためにも再生可能エネルギーの拡大が急務
- ・再生可能エネルギー割合は19%(2015年)

コープさっぽろ:

全事業、エコセンター、バイオガスプラント



**気候変動(地球温暖化)と関係が深く、  
ハード、ソフト両面での対策が重要です**

## 3. SDGsと低炭素社会

### 3-4 陸の豊かさも守ろう

**陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る(陸上資源)**

15 陸の豊かさも  
守ろう



世界:

- ・森林の喪失は砂漠化を引き起こし、地球温暖化を促進
- ・山地生態系は水源としての価値あり

日本:

- ・国民レベルでのSDGsを組み込んだ環境教育の強化が不可欠
- ・開発や乱獲、荒廃する里地里山、外来種の持ち込み、温暖化

コープさっぽろ: 未来の森づくり基金、農業賞、環境活動全般

**自然共生型社会の推進は低炭素社会の推進、  
循環型社会の推進と並行して行うべき環境課題です**

## 3. SDGsと低炭素社会

### 3-5 つくる責任つかう責任

#### 持続可能な消費と生産のパターンを確保する (生産・消費)

12 つくる責任  
つかう責任



世界:

- ・世界の食糧生産量の3分の1に相当する13億トンの食品が廃棄
- ・持続可能な調達国際規格(ISO20400)が発行(2017年)

日本:

- ・世界中の人が日本人と同じように生活すると地球2.3個分の地球が必要

コープさっぽろ:

全事業

**サプライチェーン全体を考慮する必要があり、生産者と消費者をつなぐ生協にとり最も重要な目標です**

## 4. 省エネルギー

### 4-1 CO<sub>2</sub>排出量削減中期計画

**中期目標：2030年度までに事業高あたりのCO<sub>2</sub>排出量を50%削減します(29t-CO<sub>2</sub>/億円)**

CO<sub>2</sub>排出量(t)

事業所	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	13年度比
店舗	121,313	117,272	116,038	107,188	96,000	79%
宅配	8,356	9,711	9,901	9,560	8,450	101%
生産工場	14,992	14,099	15,251	12,049	10,094	67%
配食	658	539	833	1,051	974	148%
物流	3,259	3,525	4,355	3,822	3,262	100%
その他	2,624	3,179	5,210	5,890	6,581	251%
合計	151,201	148,325	151,586	139,560	125,361	83%

事業高(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	13年度比
事業高	2,611	2,678	2,743	2,777	2,820	108%
トン/億円	58	55	55	50	44	77%

**日本政府の26%削減ではなく、  
パリ協定に準拠した数値目標としています**

### 4-2 電気使用量削減中期計画

**中期目標：2030年度までに2013年度比84%まで削減します**

電気使用量(GWh)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
目標値	192	190	188	187	185
13年度比	100%	99%	98%	97%	96%
実績値	192	181	177	180	176

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
目標値	183	181	179	177	176
13年度比	95%	94%	93%	92%	92%

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標値	174	172	170	169	167
13年度比	91%	90%	89%	88%	87%

	2028年度	2029年度	2030年度
目標値	165	164	162
13年度比	86%	85%	84%

**事業の拡大に関わらず、2013年度(基準年)から、  
前年度比1%削減を継続します**

## 4. 省エネルギー

### 4-3 エコ店舗

#### 西宮の沢店開店(2010年10月)

**日本初の大型木造スーパーマーケット**

**環境配慮型店舗: ECO・OP(イイコープ)**

**建設時のCO<sub>2</sub>を35%削減(鉄骨造→木造)**

**運用時のCO<sub>2</sub>を50%削減**

**(断熱仕様の強化、省エネ機器の導入)**

**完全木造建築 食品の地産地消から  
道産材の活用・地域振興へ**

**函館市内に木造店舗 いしかわ店が開店  
(2012年)**



**グッドデザイン賞(11年)**

**オゾン層保護・地球温暖化  
防止大賞 経済産業大臣賞  
(11年)ほか受賞**

**効果を実証された省エネ機器は他店にも水平展開し、  
店舗事業の低炭素化を推進しました**

## 4. 省エネルギー

### 4-4 省エネルギー化

#### 基本照明のLED化、地中熱の利用

全108店舗の照明をLED化

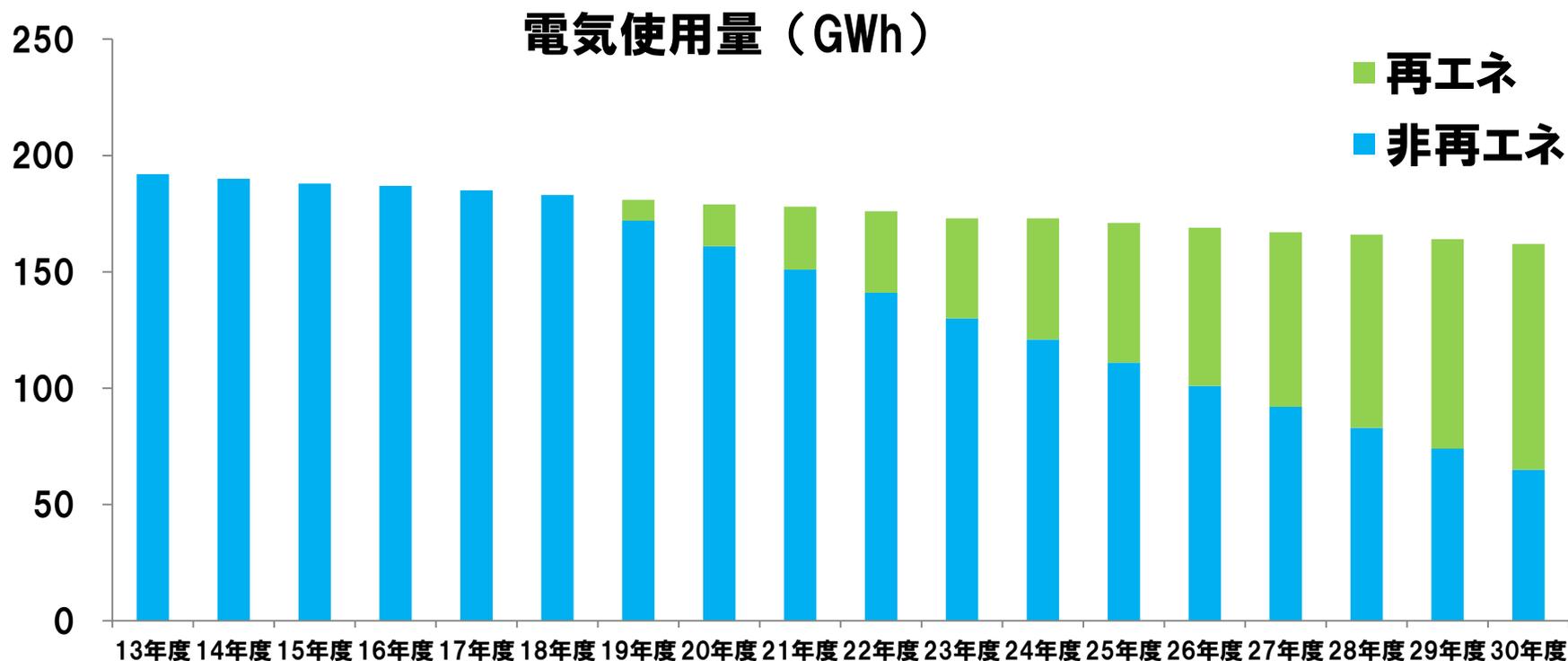
倶知安店スロープのロードヒーティングに地中熱ヒートポンプを使用



**全108店舗の基本照明のLED化は終了、  
地中熱の利用などにも着手しています**

## 5-1 再エネ使用中期計画

**中期目標：2030年度までに使用電力の60%を再エネにします**



**使用電力の60%を再エネにすることで、  
CO<sub>2</sub>排出量50%削減を達成します**

### 5-2 RE100プロジェクト

RE100:

RE 100

**事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達する目標を掲げた企業が加盟する国際イニシアチブ**

- ・国際環境NGOのThe Climate Groupが2014年に開始

#### 加盟条件

- ・事業活動を100%再生可能エネルギーで行うことを宣言(期限を設ける)  
ロードマップ:2020年30%、2030年60%、2040年90%、2050年100%
- ・再生可能エネルギーは水力、太陽光、風力、地熱、バイオマス
- ・以下に関する政策関与と公的な要請を積極的に行う
  - ① 日本の再エネ普及目標の向上
  - ② 企業が直接再エネを利用できる、透明性ある市場の整備

**電力を再生可能エネルギーに切り替えることで、  
温室効果ガスを削減し、脱炭素社会への移行を実現**

## 5-3 加盟企業

加盟企業数 164社(日本:16社)

RE 100

金融 37社(芙蓉総合リース、城南信用金庫)

製造 22社(ソニー、リコー、富士通、コニカミノルタ、エンビプロ)

食品・消費材 27社

IT 20社

建築・不動産 14社(積水ハウス、大和ハウス工業、大東建託、戸田建設)

通信 9社

小売 8社(イオン、丸井グループ、**コープさっぽろ**)

アパレル 8社

ロジスティック 6社(アスクル)

医薬品 4社

その他 9社(ワタミ)



コープさっぽろは国内13番目、北海道内企業  
および生協としては初めての加盟です(2018年9月)

## 5. RE100

### 5-4 連携

#### RE100メンバー会(2019年1月)

RE 100

#### 目的

再エネ需要家の「声・力」を結集・最大化

再エネ価格低下・普及へ、需要側として効果的なアクションの実施

#### 活動(予定)

需・給・専門家の知見を結集

価格・普及への課題に対する需要側からの発信

RE100加盟企業間のコミュニティ形成

再エネ普及のポイント(総括責任者 サム・キミンズ氏)

- ① Affordable: 手頃な価格
- ② Accessible: アクセス性がある
- ③ Long-lasting: 永続性がある



RE100加盟企業と連携して、  
再エネの普及を推進します

# 6. プラスチック問題

## 6-1 容器包装のリサイクル

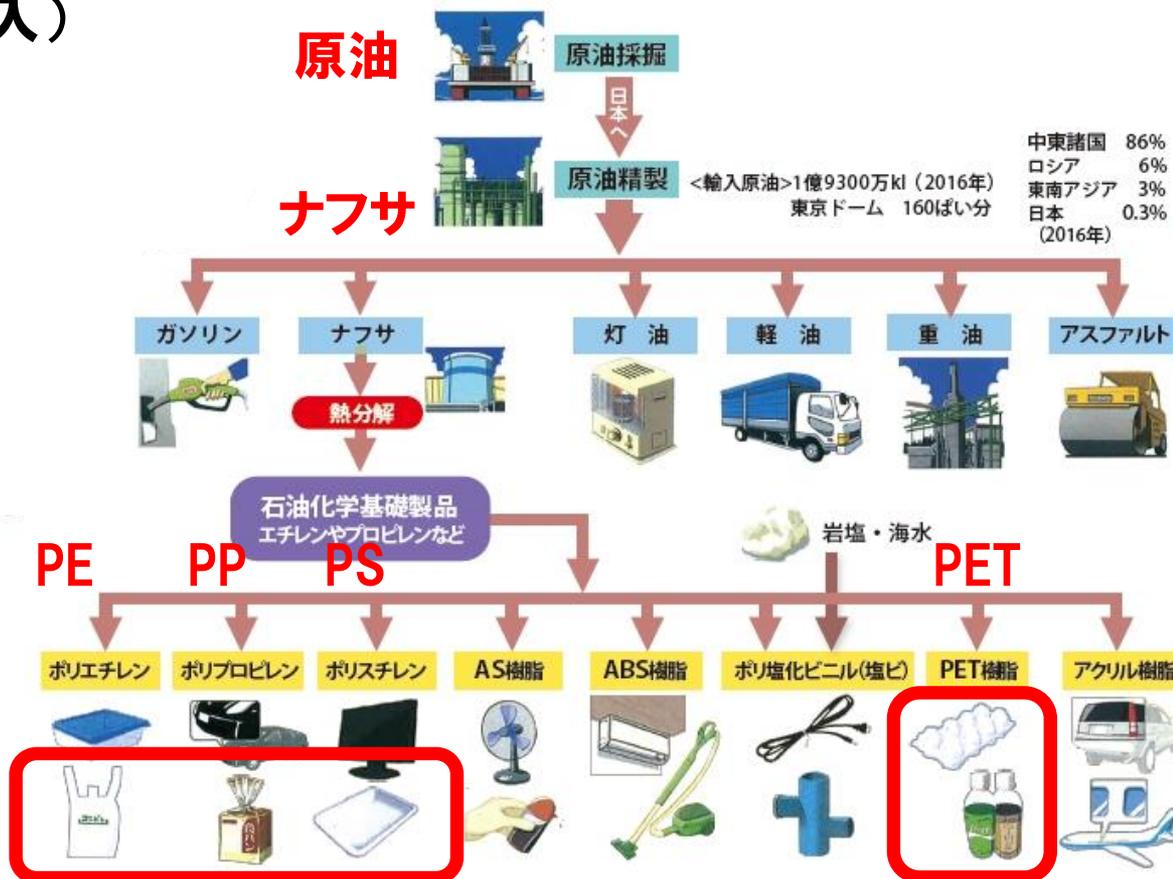
原油(中東諸国から輸入)

↓ 精製  
石油製品  
ナフサ

↓  
石油化学基礎製品

↓  
プラスチック  
ポリエチレン(PE)  
ポリプロピレン(PP)  
ポリスチレン(PS)  
PET樹脂

↓  
プラスチック製品



原油からナフサ、石油化学基礎製品を経て  
プラスチック製品になります

## 6. プラスチック問題

### 6-1 容器包装のリサイクル

#### ① 軽くて丈夫、携帯に便利

例) ペットボトル

- ・落としても割れない
- ・酸素を通さないので、常温保存が可能



#### ② 気密性と耐熱性に優れる

例) レトルトパウチ

- ・長期保存が可能
- ・電子レンジで調理可能



#### ③ 複合材が品質を長期間保つ

例) スナック菓子

- ・酸素、湿気、紫外線、微生物から長期間守る



#### ④ 透明性があり、着色ができる

例) 寿司パック

- ・中身が良く見える
- ・潰れやすい食品もガード



食品関連業界はプラスチック製品を  
多量に使用しています

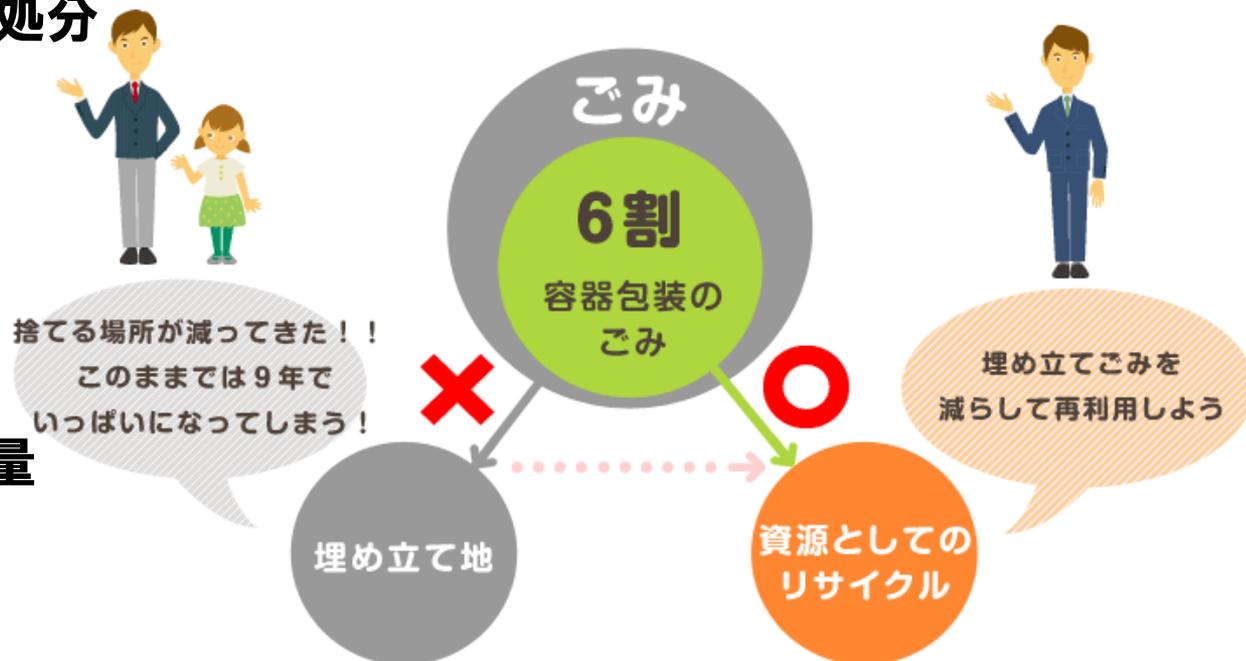
## 6. プラスチック問題

### 6-1 容器包装のリサイクル

以前  
プラスチックごみは埋立処分

↓  
埋立地がひっ迫

↓  
1995年  
容器包装リサイクル法  
容器包装廃棄物を  
資源化して、ごみを減量



日本容器包装リサイクル協会HP より

プラスチックごみは埋め立てからリサイクルへ

## 6. プラスチック問題

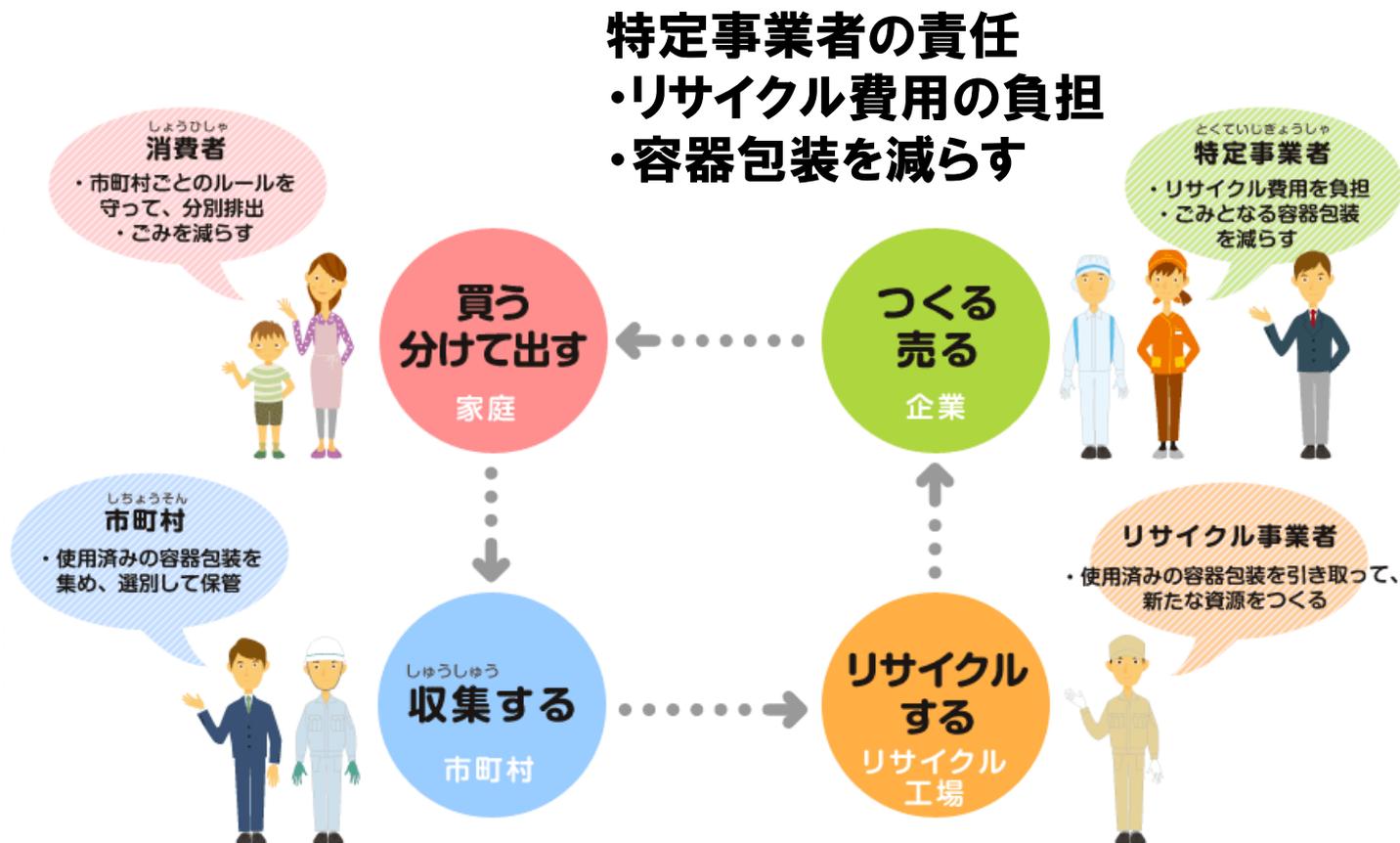
### 6-1 容器包装のリサイクル

#### 役割

消費者  
→分別

市町村  
→分別収集

事業者  
→再商品化



日本容器包装リサイクル協会HP より

容器包装のリサイクルは消費者、市町村、事業者それぞれの役割があります

## 6. プラスチック問題

### 6-2 リデュースの取り組み①

#### レジ袋有料化

2008年4月 北海道ノーレジ袋運動を進める連絡会  
消費者団体、行政・自治体、流通業界の3者で構成  
(現 北海道容器包装の簡素化を進める連絡会)

2008年7月 **コープ未来の森づくり基金**  
レジ袋を辞退すると0.5円を基金に積立  
北海道の植樹活動に使用(毎年1万本)

2008年10月 レジ袋有料化

現在

**レジ袋辞退率 89.4%**

**基金累計 2億3153万円**



全国で最先端の取り組みであり、現在も  
北海道のレジ袋辞退率は80%以上と非常に高い

## 6. プラスチック問題

### 6-2 リデュースの取り組み②

#### 天然素材マイバッグ

2008年 導入

通算 822000個 製造

デザインは梶原加奈子 氏(北海道出身)  
「北海道の自然」がテーマ

素材はジュート(黄麻)とコットン(綿)  
インドで一点ずつ手作り

レジかごサイズで肩掛け可能



北のはなマイバッグ  
2019年復刻!

**組合員加入時にプレゼント、  
店頭でもレジ前で販売しています**

## 6. プラスチック問題

### 6-2 リデュースの取り組み③

#### 環境配慮型レジ袋

2015年7月 導入

サトウキビから由来の**グリーンポリエチレン**を  
15%配合することにより、  
CO<sub>2</sub>排出量を10%以上削減

店舗で使用しているレジ袋  
8,542,000枚（2014年度）

年間CO<sub>2</sub>排出量488tのうち52tを削減

電気使用量75,584kWhに相当  
（1店舗の19日分）

トマツの森林11.9haに相当



日本有機資源協会  
認定



北海道内の流通事業者で初めて  
バイオマスマークを取得

## 6. プラスチック問題

### 6-3 リユース・リサイクルの取り組み

#### エコセンターの設立

2008年10月 稼働開始

事業所と組合員が**分別した資源物**を  
エコセンターに集め、販売用に圧縮、加工

所在地:江別市東野幌147-1

建物面積:2150m<sup>2</sup>

荷受時間:365日24時間



エコセンターによる資源回収の自前化により、  
廃棄物量の削減を行っています

# 6. プラスチック問題

## 6-3 リユース・リサイクルの取り組み

店頭回収



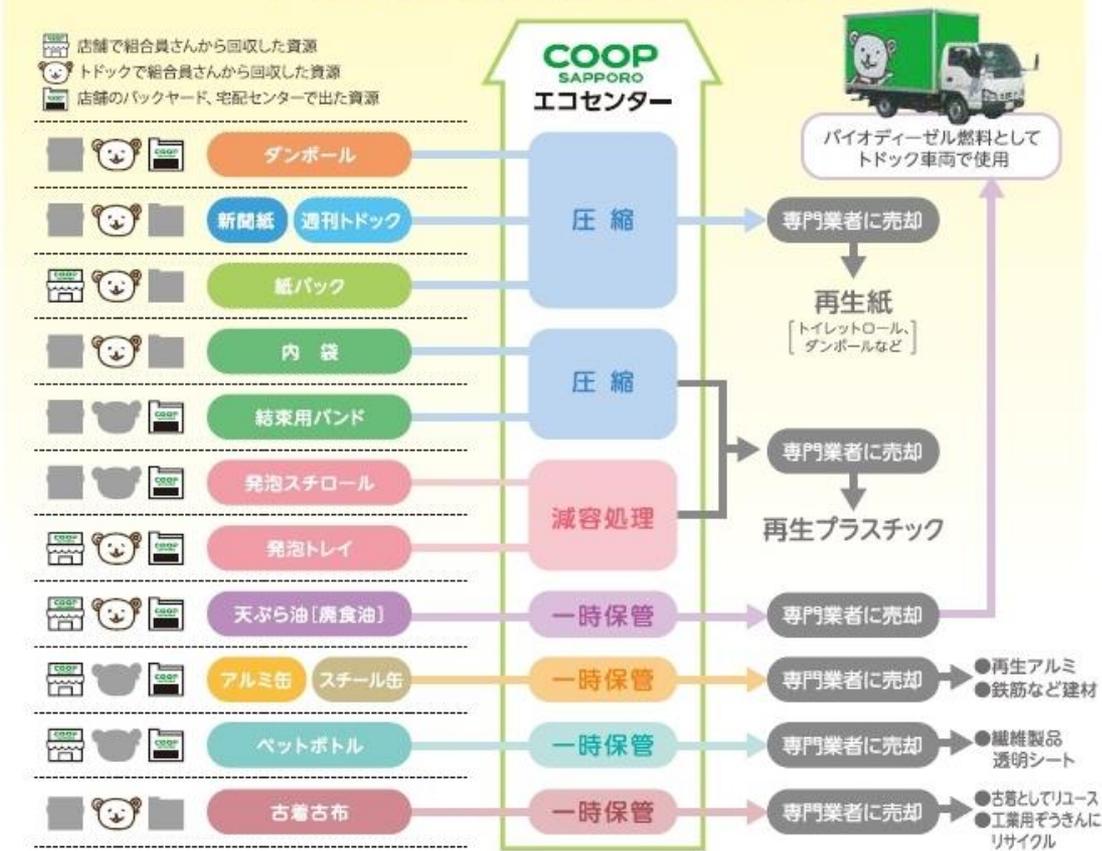
宅配回収



事業所



### 回収した資源の流れ



プラスチックは宅配内袋、結束用バンド、ペットボトル、発砲スチロール、発砲トレイを回収しています

## 6. プラスチック問題

### 6-3 リユース・リサイクルの取り組み

単位:トン

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	通算
ダンボール	16,870	16,617	16,991	17,602	17,598	156,042
紙パック	289	292	280	283	276	2,701
週刊トドック	8,262	8,950	9,948	11,041	12,085	79,200
新聞紙	976	975	983	1,000	954	7,718
発泡	416	384	411	388	375	3,991
ペットボトル	60	58	61	66	47	533
スチール缶	30	27	18	24	16	259
アルミ缶	44	44	46	58	68	415
PPバンド	41	40	42	44	43	376
内袋	128	125	117	116	116	899
廃食油	722	769	807	849	861	6,608
古着古布	-	21	671	728	747	2,167
合計	27,838	28,302	30,375	32,199	33,186	260,909

プラスチックは宅配内袋、結束用バンド、ペットボトル  
発砲スチロール、発砲トレイを回収しています

## 6. プラスチック問題

### 6-3 リユース・リサイクルの取り組み

年間2000人が見学



**白い発泡は減容してインゴットとして販売しています  
プラスチック製品の原料になります**

## 6. プラスチック問題

### 6-3 リユース・リサイクルの取り組み

#### カラートレイの燃料化

2017年12月 稼働

ペレットはポリスチレン(PE)由来  
灯油と同等のカロリー  
エコセンターで自家消費



**カラートレイはペレット化して、エコセンターの  
専用ボイラーで燃料として使用しています**

### 脱炭素社会の推進に向けたコープさっぽろの取り組み

1. 持続可能な社会のためには脱炭素化が必要です
2. 省エネルギー化を進め、CO<sub>2</sub>排出量の削減を進めています
3. RE100に加盟し、計画的に再生可能エネルギーの利用を進めています
4. プラスチック製品は3R活動により環境負荷低減を行っています
5. 以上の活動を組合員や取引先と共に進めています

**SDGsの社会問題、環境問題、経済問題を同時に解決する方向性は脱炭素社会の推進にも通じます**

今後も環境活動を中心に  
持続可能な社会づくりを推進します



ご清聴ありがとうございました